



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報

藤
堂
記念

【飛耳長目】(ひじちょうもく)
優秀な情報収集力と判断力をいう



Lend a Hand
手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリー理解月間

第821回 平成16年 1月14日(水)

〔本日のプログラム〕

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 食 | 事 |
| 2. 点 | 鐘 |
| 3. ロータリー・ソング
「手に手つないで」 | |
| 4. 四つのテスト唱和 | |
| 5. 会長の時間 | |
| 6. 幹事報告 | |
| 7. 委員会報告 | |
| 8. 1月のセレモニー | |
| 9. 会員卓話 新会員 | |
| 10. 点 | 鐘 |

理事・役員会

次回予告
★ 1月21日(水)
プログラム
(ロータリー理解月間にあたって)

★ 1月28日(水)
ロータリー情報
100万ドル食事

佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週水曜日 (12:30~13:30) 会長 中武 幹雄
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 林 厚雄
事務局 宮崎県佐土原町大字下郷3887-17 幹事 梶田與之助
TEL&FAX 0985-73-7170 会計 岩切 正司
880-0212 会費帳 池田 仁志

第820回例会記録 (2004. 1. 7)

☆会長の時間

会長 中武幹雄君

皆さん明けましておめでとうございます。

本夜は第820回の例会で、場所を神宮寺ホテルに変更しまして、新年家族懇親会を開催させて頂きました。

沢山のご家族も出席いただき、ありがとうございます。

時間はたっぷり取ってあります。どうぞ、ごゆっくりくつろいで頂きまして、親睦を深めて下さいますようお願い致します。

私の会長年度、2003~2004年度がスタートして半年が過ぎました。当初、会長の時間をどのように務めるか、非常に悩みました。年間の例会を休みなく務めると、49回の会長の時間を過ごす訳ですから、話題探しに悩みましたが、入会後、長くない私にとって、ロータリーについて無知な事もあり、良い機会ですので、自分なりに勉強した事を述べさせていただいております。

これからの中半年間もロータリーの情報を交えながら、進めて行きたいと考えております。諸先輩には失礼かと思いますが、私に勉強させるつもりで、見守って頂きたいと願う次第であります。

今日は親睦委員会の方で、何か楽しい事を考えているようですので、時間のゆるすかぎり、どうぞ、ごゆっくり楽しんで下さい。

先週はベネファクターについて述べさせていただきました。本日は出席の意義についてご案内致します。

「例会の出席」はロータリアンにとって会員資格の条件であります。

クラブ例会に出席することは、最も基本的な義務で、自分のクラブに対して、最小限の奉仕であると言われております。更に出席率の、より高い実現に向かって努力することを、ロータリアンに求められております。因みに、当クラブの半年間の出席率は70%です。これからの残る例会については、皆さんのご協力で、これを超える出席率のアップを目指して行くよう、年頭に当たって、お願ひ致します。

折角のご馳走を目の前にして、「長い話と女性のスカートは短い方が良い」と言いますので、ここで会長の時間を終わりと致します。

私は只今、『明鏡止水』(めいきょうしき)の心境です。

A Happy New Year

☆出席報告

委員長 後藤明夫君

会 員 数	27名
例 会 出 席 者	21名
出 席 率	78%
メークアッブ者数	2名
修 正 出 席 率	85%
欠 席 者 名	岩下、朝陽、林潤、近藤、

家族(夫人)出席者名

福井八重子さん	濱田 操さん
垂水 節子さん	正岡 洋子さん
山脇 昭代さん	岩切 純子さん
中武ちづ子さん	佐藤あずまさん
郡司小百合さん	

☆会員卓話 (平成15年12月24日分)

山脇 忍君

1. 例会運営について

わが佐土原ロータリークラブも間もなく創立17年目を迎えようとしています。会員皆様の努力によりまして、ロータリーライフを楽しむ境地にまで達しています。しかし、最近、少し錆びが出てきたのではないかと危惧します。佐土原クラブに限った事ではないのですが。

そんなわけで、地区のクラブ奉仕委員会では、『クラブの活性化、そして、例会のマンネリ化からの脱却を目指して』を主題にして、具体的には「愉しく、出席したくなるような例会運営の工夫」をテーマに地区内64クラブのクラブ奉仕委員長さん方に、グループ討論をしていただきました。これは、単なる解説や講演では得られない、ロータリーの理解を目指しています。これにより、活発な討論、意見発表がなされ、70項目余りの卓越した例会運営の手法が明らかになりました。その一部は来月発行のガバナー月信に掲載されると思いますが、当クラブに於いても、是非参考にしてもらいたいと思いますので、それ以外の一部を申し上げます。勿論、決して斬新なものとは思いませんが、要はこれを如何に実行するかであります。

①例会充実の為、座席、食事時間の変更。

12時から食事開始。(現在実行)

- ②一年毎の連続出席者の表彰。
- ③フリーの卓話を、時間ががあれば行う。
- ④誕生日者全てに、短い卓話をお願ひする。
- ⑤情報集会(炉辺会合、家庭集会)、各種委員会を会員の家庭で実施。特に新会員の参加。
- ⑥出席委員長が、前日迄に出席確認をする。
- ⑦若い年齢層を考えて、夜間例会を主体にする。昼間の例会は月一回程度。
- ⑧例会の卓話は、最も大事である。会員相互の切磋琢磨のため、また異業種のノーカウ(know How)を知るためにも全会員が熱心に、且つ積極的な取り組みを。
- ⑨欠席の多い人には、推薦者が積極的な声かけを。
- ⑩ビジターへの対応の工夫を。会員の方から握手を求める。一人放置しない。ビジター係を友愛委員として任命しては。
- ⑪会長の時間におけるロータリー情報の充実が望まれる。
- ⑫例会中に会員からの質疑応答や、全体での会話の時間を持っては。
- ⑬例会の開始以前に、友愛の広場を利用し、談笑の機会を持つ。
- ⑭結婚記念月には、夫婦同伴で出席してもらい、記念品の贈呈。
- ⑮会員卓話に全員参加できるように、プログラムの工夫を。
- ⑯月一回全員参加型パネルディスカッション形式で誰もが知っていて、すぐ発言できるテーマで沢山の人が発言・発表できる例会実施。「ラーメン」「温泉ヨ「親睦」等

2. ノロウイルスについて

食品衛生法の改正（平成15年8月29日施行）に伴い、小型球形ウイルス(Small Round Structured Virus-SRSV)はノロウイルス(Norovirus)という名称に変わりました。このノロウイルスについて少々ご説明します。従来、ノーオーク様ウイルスと呼ばれていましたが、ウイルスの正式な呼称として相応しくないという意見もあり、2002年よりノロウイルス(Norovirus)という新しい呼称で呼ばれることになりました。

ノロウイルスは、冬期を中心に、一年中流行して、胃腸炎を起こします。つまり嘔吐・下痢症であります。比較的抵抗力が強く、60℃10分程度の加熱では病原性を失わず、塩素系殺菌剤や消毒用アルコールに対しても抵抗性があります。

感染経路は、生カキの関与が強く指摘されているが、学校や保育園あるいは家族内で、生カキを食べていてないのに集団発生する事があり、原因として、人から人への感染も考えられています。

ノロウイルスの直径は30ナノメーター、(nm) = (100万分の1mm) 前後で、ウイルスの中では、ポリオウイルスや日本脳炎ウイルスと同様小型のウイルスに入ります。

これまでの調査で原因食品は、水やノロウイルスに汚染された食品、特にカキを含む二枚目が多く報告されています。ノロウイルスは目の中では増殖できません。二枚目の生息域がノロウイルスに汚染されると、ノロウイルスを体内に蓄積してしまうと考えられています。

また、感染者の便や吐瀉物に接触したり

飛散したりすることにより、二次感染を起こすことがあります。

最近ではむしろ、人から人への感染が多くなっているのではないかと思います。しかし、人から人への感染では接触感染も否定できませんが、多くは食品が関係しています。患者によって汚染された食品を摂取して感染します。

症状は、潜伏期は24~48時間で、下痢、吐き気、腹痛、発熱(38℃以下)が主流です。通常3日以内に回復しますので、安静にしていますと大部分はそのままで治ります。感染しても全員が発症するのではなく、発症、してもかぜ症状だけで済む人もいます。しかし、抵抗力が落ちている人や乳幼児では少数のウイルスでも発症します。一般に乳幼児は吐き気が強く、大人では下痢症状を示すことが多いようです。予防には、カキなどの二枚貝は中心部まで。十分に加熱してから食べることです。湯通し程度の加熱ではウイルスは死にません食品、特に生鮮食品(野菜、果物など)は十分に洗浄することです。

トイレの後、調理する際、食事の前には良く手を洗ってください。また、手洗いの後、使用するタオル等は清潔なものを使います。

患者が出たら、各々が使い捨てできる紙タオルを使用した方がいいでしょう。感染者の便、嘔吐物には接触しないこと。接触した場合は十分な洗浄と消毒を行なうことです。

症状が強い時には、早目に医療機関を受診してください。